

長崎大学学術研究成果リポジトリ: NAOSITE

学術雑誌掲載論文登録数 大幅アップしました!

平成 20 年度コンテンツ登録数内訳(抜粋)

種別	件数(前年度)
学術雑誌論文(国外)	224 (11)
学術雑誌論文(国内)	1606 (112)
学位論文(本文)	31 (100)
学位論文(要旨)	119 (112)
紀要論文	950 (1882)
会議発表論文	101 (8)
会議発表資料(ポスター・スライド)	26 (77)
その他(図書・研究報告書・教材・貴重資料など)	1051 (5868)

平成 20 年度増加件数

4,107 件

学術雑誌論文の登録数

前年度の約 **14 倍**

年度末総コンテンツ数

15,486 件

部局との連携による

学内コンテンツの収集

- 新規学位論文について部局を通じた登録依頼
- 全学的に新規発行紀要 PDF を印刷所からデータ提供

評価基礎データベース

との連携機能

- 評価基礎データベースからリポジトリにデータを送信
- 評価 DB からリポジトリ論文へのリンク機能

下村博士の論文登録

- 2008 年ノーベル化学賞受賞の本学薬学部卒業生、下村脩博士の論文・講演資料 20 件登録

業者委託による

紀要の遡及的電子化

- 学内紀要 32,842 ページの本文 PDF ファイル・メタデータを作成

システムの機能強化

- Dspace バージョンアップ
- 統計通知メール送信機能
- DOI, PubMedID からデータを流用しての登録機能
- 紀要一覧表示機能

WG を活用した論文収集

- Scopus を利用した個別提供依頼業務を開始
- 館内のリポジトリワーキンググループで作業を分担
- 学術論文 149 件登録

登録数アップの技 SCOPUS™ を利用した 著者版提供依頼業務

概要

データベース Scopus のメールアラートを利用し、本学研究者の最新学術論文情報を継続的に収集。図書館内のリポジトリワーキンググループ(中央図書館・医学分館・経済学部分館の職員計 8 名)で分担して論文のポリシー調査・依頼・登録

作業手順

メールアラートとは

- Scopus の登録ユーザ用 新着論文メール通知サービス
- 検索条件は、著者所属 ID (AF-ID) が長崎大学のもの
- アラートの頻度は週 1 回に設定

1. ポリシー調査

- 本学教員の貢献度と出版社ポリシー調査
雑誌の投稿規程や, SCPJ・SHERPA/ROMEO など参照
- 調査結果は WG の ML に報告
→ 情報共有と、クロスチェック

学協会著作権ポリシーデータベース
SCPJ SHERPA RoMEO **1159 件**

(件数は 2008 年 6 月~2009 年 3 月集計)

2. 著者への依頼

- 雑誌のポリシーや公開条件(著者版のみ可、エンバーゴがあることなど)を簡単に説明
- 著者とのメールは全て ML に cc (情報共有)

313 件

3. データの登録

- データを提供してくれた研究者は、統計が閲覧できるように設定。

149 件



成果

1 作業ノウハウ蓄積 → 調査時間短縮
(作業結果 DB、ポリシー-wiki 作成)

2 学術雑誌掲載論文登録件数アップ!!

3 依頼メールがリポジトリの広報に!!

